

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 112 1月号

2015年1月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(<https://www.lib015.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

読書と私 No.104

「読書は『心の栄養・元気と勇気の源』」

新宮町 川島 勲

新年あけましておめでとうございます。

定年を機に、妻の実家である新宮町に居住することになり、たつの市の老人大学や西播磨高齢者文化大学大学院で学びました。調べ物をするため新宮図書館に通い始めた間もない頃です。探していた目的の書物がなく窓口の若い女性職員さんに相談したところ、彼女は気軽に優しく親身な態度で熱心に各方面に手を廻し、数日後たつの市以外の図書館から、目的の書物を取り寄せてくれました。何事もなかったような柔らかな言動に感謝と感動を覚えました。その後、他の全ての女性職員さんと接していますが、皆さん同じように誰にでも、やさしく、親切な対応です。わが町の新宮図書館を誇りに感じています。



現役時代読んでいた書物は『自己啓発書』や『ビジネス』書が中心でした。当時はいかんにして組織を動かし、成果を上げるかに必死な思いでした。「指示し、命令するだけでは、人は本気になって動かない」どうすれば人を本気にさせられるのかと悩み、企業戦士として毎日全力投球の日々でしたが、打算的で自己中心的な考え方で読書だったように思います。

今は、何にも、誰にも、束縛されることなく自分の思いのままに自由に、好きな本を選んで(職員さんの知識と協力を得て)、楽しんでいきます。読書はいい音楽や美しい絵画と同じように、読後、湧き立つような感覚を覚えたり、又時には涙を流したりと魂を揺さぶってくれます。私にとって「心の栄養」だと感じています。言葉は「言霊」と言われています。言葉によって元気や勇気が自然に生まれてくるように思います。流行やベストセラーにとらわれることなく、児童文学書と言われるものや、古典的と思われる書物を好んで読んでいます。時には全集などにも挑戦し、全巻読み終えた達成感を味わっています。

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『名前と権力の中世史』 水野 智之 著 吉川弘文館



名前に対する政治権力の関与の歴史は古く、日本でも古代から見られる行為であったという。名前の規制は実名を呼ぶことの禁忌観念(実名を知られることは、その人物そのものを把握されると認識されていた)が根底にあり、「避諱」(尊貴者・権力者と同じ名前を用いることへの敬避)をもたらしした。

罪人を改名することもしばしば見られ、源義経は、頼朝から謀反の疑いをかけられ追放された際、ある公卿と同名(読みが同じ)であったため、「義行」と改名されたという。義経はその後、数万の軍勢が捜索したにも関わらず捕えることができなかった。それは名前が「よしゆき」、つまり「良く行く」という、うまく逃げられる意味の名前であるためと考えられ、今度は「義頭」

と改名された。「頭」という字は早く発見されることを願ってのことと考えられる。

室町時代に入ると、将軍による公家や僧などへの「偏諱の授与」(名前の一字を授かって命名すること)が積極的に行われた。これは武家だけでなく、摂関家を頂点とする公家をも抑える将軍権力の強さを印象付けることとなった。ただし、将軍の名前については、天皇の宸筆により下賜されること、つまり天皇により命名されることが多かったという。この関係は、「象徴としての権力」と「実際の権力」との関係を示しているようで興味深い。

誰しもが持つ「名前」というものにテーマを絞り、中世の政治状況や権力の構図などを分析した意欲的な一冊である。

(御津図書館 西田つ)

トピックス

新しい年も図書館へ! (新春のイベント情報)

懐かしの昭和の風景
- 渡部美智子の人形展 -

昭和の子どもの遊びや農作業の様子を表した人形作品を展示します。紙芝居に集まる子どもや一家団欒の懐かしい光景をお楽しみください。

期間: 1月7日(水) ~ 2月3日(火)

※休館日を除く

場所: 揖保川図書館

作者: 渡部 美智子 氏



第6回SPレコードコンサート♪
「甦る あの時代 この名曲」

蓄音機の銘機「クレデンザ」・「HMV194」によるSPレコードコンサートをします。「パリのアメリカ人」「枯葉」「スターダスト」など懐かしの名曲をお楽しみください。

日時: 1月18日(日) 13時30分~15時30分

場所: 新宮図書館

選曲・お話し: 福島 繁博 氏

対象: 中学生以上

定員: 50名(先着順)

申込: 新宮図書館(電話可)



凧・美人画の世界

明治・昭和期に活躍した日本画家たちの描いた美人画を模写し、制作した和凧約20点の展示と、畳1畳ほどの大凧の凧あげの実演や体験会を開催します。

作者: 高艸 仁 氏(日本凧の会会員・たつの市在住)

【展示】

期間: 1月5日(月) ~ 2月2日(月) ※休館日を除く

場所: 新宮図書館

【凧あげ会】

日時: 2月1日(日)

13時30分~15時30分

※新宮図書館集合

定員: 20名(先着順)

申込: 新宮図書館(電話可)



渡り鳥を観察しよう!

野鳥についての説明を聞き、せせらぎ公園から渡り鳥などの野鳥を観察します。

日時: 1月24日(土)

10時~11時30分

場所: アクアホール3階研修室、せせらぎ公園

講師: 圓尾 哲也 氏(西播愛鳥会会長)

対象: 小・中学生、高校生、一般

(小学3年生以下は保護者同伴)

定員: 20名(先着順)

持ち物: 筆記用具・防寒具(あれば双眼鏡・鳥類図鑑)

申込: 揖保川図書館(電話可) ※1月6日から受付



おすすめる子どもの本・104

『だるまちゃんとてんぐちゃん』 加古 里子 さく/え 福音館書店

ちいさいだるまちゃんは、友達のとてんぐちゃんの持っているうちわが欲しくなり、大きなだるまどんに、たくさんのうちわを出してもらいますが、気に入りません。その時、庭のやつでの葉っぱを見てうちわにすることを思いつきます。それを見たてんぐちゃんは「いいものみつけたね」と褒めてくれます。同じように帽子や履物をお椀やまな板で工夫して作り、てんぐちゃんに見せにいきます。

そして今度はてんぐちゃんの長い鼻がほしくなりました。鼻の先にとんぼがとまって、てんぐちゃんをとんぼを捕まえる事ができたのです。大きなだるまどんに長くて赤い鼻が欲しいと伝えますが、だるまどんが用意してくれたのは、長くて赤い花でした。間違いがわかっただるまどんは、家族総出でお餅をついて、だるまちゃんの顔に長い鼻をつけてくれました。大喜びのだる

まちゃんは鼻ですずめを捕まえて大満足です。

だるまちゃんとてんぐちゃんのほのぼのとしたやりとりや、だるまちゃんの意外な思いつきがおもしろく、だるまちゃんのために頑張るだるまどんたちの姿からは、家族の温かさを感じます。

だるまどんが出してくれる様々な形の帽子や靴の絵を見るのも楽しみな絵本です。読んであげるなら3歳くらいから。

(新宮図書館 勝谷)

『くしゃみくしゃみ天のめぐみ』 松岡 享子 作 福音館書店

昔あるところに、じいさまと息子のかん太が住んでいました。このかん太のいびきがものすごい音で、ガーッという度、障子のさんが震え、雨戸は鳴り、空気の振動で台所の棚からしゃもじやざるがバツバツと落ちてきます。

いびきは年とともにひどくなって、じいさまはよく眠れなくなりました。そこでかん太は、他の場所で寝ることにしました。

ところが、いびきがあんまりすごいので、かん太が豚小屋で寝ると丸々太っていた豚がゲッソリ痩せ、田んぼのあぜで寝ると何千匹ものかえるが、耳をふさいでのびてしまうのでした。

かん太が山で寝ることにすると、夜中に雷雨になりました。かみなりさまが、かん太のいびきを雷と勘違いしてやって来たのです。年をとったかみなりさまは、かん太に、天に来て自分の代わりにその立派ないびきを鳴らしてほしい、と頼みました。

かん太は天にのぼってかみなりになり、それ以来、村の人達は雷が鳴ると、またかん太さまがいびきをかいている、と言うようになりました。「かん太さまのいびき」

その他、くしゃみをすることで、次々と良い事が起きる「くしゃみくしゃみ天のめぐみ」や、大めし食らいのあや太郎のお腹の中に雀が住みつく「あくびあや太郎」等、昔話風に書かれた愉快的な物語が5つ収められています。小学校1年生くらいから。

(揖保川図書館 杉岡)



各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段) ・ 時間(下段)	1月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	1～3歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時20分)	10日・17日 『おでかけばいばい』他
	子どもの本を読む会	一般 ----- 第2木曜日(10時～11時30分)	8日 『センス・オブ・ワンダー』 レイチェル・カーソン 著
	読書会	一般 ----- 第2金曜日(10時～11時30分)	9日 総会
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 ----- 第2日曜日・4月曜日(11時～11時20分)	11日・26日 『おしょうがつさん』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ ----- 土曜日(10時15分～10時45分)	10日・17日・24日・31日 「ねずみ ^{きょう} 経」他
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 ----- 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	10日・17日 『ジルベルトとかぜ』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 ----- 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	10日・17日 「がちょう はくちょう」他
	読書会	一般 ----- 第3金曜日(10時～12時)	16日 『「福」に憑かれた男』喜多川 泰 著
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	0歳児～、保護者 ----- 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	11日・18日 『ゆきのひのうさこちゃん』他
	読書会	一般 ----- 第2火曜日(13時30分～15時30分)	今月はお休みです
	古文書を読む会	一般 ----- 第2土曜日(13時30分～15時30分)	今月はお休みです